

【研修名 主任研修】

科目名	主任介護支援専門員の役割と視点	時間数	講義 5 時間
講師			
目的	地域包括ケアシステムの構築や地域包括ケアを実現するケアマネジメントを展開するに当たり、主任介護支援専門員が果たすべき役割を認識するとともに、その役割を担う上で必要な視点、知識及び技術を修得する。		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等における主任介護支援専門員の役割（地域や事業所の介護支援専門員に対する個別支援、地域や事業所における人材育成の実施、多職種等とのネットワークづくりや社会資源の開発などの地域づくり及びセルフケア・セルフマネジメントに関する地域住民の意識づくり）について講義を行う。 ・ 事業所におけるケアマネジメントと地域包括ケアシステムにおいて求められるケアマネジメントの違いに関する講義を行う。 ・ 介護支援専門員に対する指導・支援の視点及び地域包括ケアシステムの構築に当たっての地域づくりに関する講義を行う。 ・ 介護保険制度や利用者支援に係る周辺制度について、最新の制度改正等の動向に関する講義を行う。 ・ 質の評価やデータ活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供に向けた現状の取組及び課題についての講義を行う。 		
修得目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等における主任介護支援専門員の役割の共通点と相違点を説明できる。 ② 介護支援専門員に対する指導・支援の視点について説明できる。 ③ 地域包括ケアシステムの構築に向けての地域づくりの視点について説明できる。 ④ セルフケア・セルフマネジメントに関する地域住民の意識づくりの視点を説明できる。 ⑤ 介護保険制度や他制度について、最新の動向について説明できる。 ⑥ 主任介護支援専門員としての役割を実践するにあたり、現状を振り返って自らの課題の設定を実施できる。 ⑦ 「自らの実践」と「指導・支援」の視点の違いについて説明できる。 ⑧ ケアマネジメントプロセスに関する最新の知見を踏まえた、実践のあり方の見直し（アップデート）を行うことができる。 		
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ● 介護保険制度の動向及び地域包括ケアシステムの推進に関する基本的な考え方の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険制度および地域包括ケアシステムの動向 ・ 介護給付サービスとそれ以外の社会資源の動向 ・ 介護予防・日常生活支援総合事業 ・ 地域ケア会議の目的と機能 ・ セルフケアマネジメント ● ケアマネジメントを取り巻く環境等の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ ケアマネジメントプロセスに関する最新の知見 ・ 高齢者の権利を擁護する上で必要な制度等の動向 ● 主任介護支援専門員の役割の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 主任介護支援専門員に共通した役割と視点 ・ 居宅介護支援事業所における主任介護支援専門員の役割と視点 ・ 地域包括支援センターにおける主任介護支援専門員の役割 ● 最新の知見や動向を踏まえた実践のあり方の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践の振り返り ・ 最新の知見や動向を踏まえた実践のあり方の検討 ● 地域包括ケアシステム構築にむけた地域の課題と主任介護支援専門員に求められる能力の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における社会資源の質及び量の確保に向けた課題 ・ 新たな課題への対応のための介護支援専門員自らの資質向上 ・ 介護支援専門員におけるケアマネジメントの質の向上への取り組みの必要性 ・ ケアマネジメントの更なる向上にむけた調査・研究 			
テキスト 参考資料			
評価方法	研修記録シート、科目の理解度		
その他			

【研修名 主任研修】

科目名	ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援	時間数	講義 2 時間
講師			
目的	介護支援専門員が直面しやすい倫理的課題に対し、どのような姿勢で対応すべきかについて指導・支援する技術を修得する。		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護支援専門員倫理綱領の意義・内容を再確認し、介護支援専門員が備えるべき倫理を実践例を交えて講義を行う。 ・ ケアマネジメントを行う際に直面する倫理的課題と対応方法について講義を行う。 ・ 個別支援において生じた倫理面の課題に対する指導・支援方法について講義を行う。 		
修得目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 自らの振り返りを通して、自己の倫理的課題について改善策を判断できる。 ② 具体例を交えながら、主任介護支援専門員が備えるべき倫理について説明できる。 ③ 介護支援専門員に対して、ケアマネジメントを行う際の倫理的課題と対応方法について説明できる。 ④ 介護支援専門員が、自らの倫理的判断力を高められるような振り返りの支援を実施できる。 ⑤ 研修会や事例検討会における倫理的な配慮について説明できる。 		
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ● ケアマネジメントにおける倫理的な質を高める重要性の確認 ● 自己の実務における倫理的な態度や行動に関する振り返り ● 主任介護支援専門員としての心構えと介護支援専門員への支援における留意点の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護支援専門員の多くが経験する倫理的課題 ・ 倫理的な視点を踏まえた介護支援専門員に対する支援 ・ 主任介護支援専門員としての心構えと対応のポイント ・ 利用者の権利擁護に関する事例における倫理的な課題への対応 			
テキスト 参考資料			
評価方法	研修記録シート、科目の理解度		
その他			

【研修名 主任研修】

科目名	終末期ケア（EOL（エンドオブライフ）ケア）を含めた生活の継続を支える基本的なケアマネジメント及び疾患別ケアマネジメントの理解	時間数	講義 3 時間
講師			
目的	高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解や疾患別のケアの留意点、終末期ケアの基本等を踏まえた介護支援専門員への指導・支援や地域づくり等を行うために必要な知識・技術を修得する。		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「適切なケアマネジメント手法」の意義、基本的な考え方を踏まえた、介護支援専門員への指導・支援の方法や留意点に関する講義を行う。 ・ 終末期ケアの基本を理解し、居宅及び施設における終末期ケアの課題や必要な視点について講義を行う。 ・ 終末期ケアで必要な看護サービス等を活用する際の視点や医療職をはじめとする多職種との連携方法協働のポイントについて講義を行う。 		
修得目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解に基づいたケアマネジメントの実践について介護支援専門員に対する指導・支援を実施できる。 ② 適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、アセスメントや居宅サービス計画等の作成についての指導・支援ができる。 ③ 適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、地域で特に必要とされる支援内容の傾向や社会資源の不足等について、地域ケア会議等への提言ができる。 ④ 終末期ケアにおける必要な全人的視点を基に指導・支援できる。 ⑤ 居宅及び施設における終末期ケアの課題や必要な視点を指導・支援できる。 ⑥ 看護サービス等を活用する際の視点や多職種との連携方法・協働のポイントの指導ができる。 		
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の状況に応じた基本的なケアマネジメントの展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護高齢者の生活像 ・ 健康状態と生活機能を構造的に捉える視点 ・ 高齢者に多い代表的な疾患や症候群 ・ 生活の継続を支える基盤としての基本ケア ● 適切なケアマネジメント手法の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切なケアマネジメント手法作成の背景と目的、制度上の位置づけ ・ 適切なケアマネジメント手法を使う意義 ・ 適切なケアマネジメント手法の基本的な考え方 ・ 適切なケアマネジメント手法の活用方法、活用場面 ● 適切なケアマネジメント手法を指導・支援や地域づくりに活用する方法や留意点の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所内や同行訪問での指導・支援での活用 ・ 相談支援や研修、地域包括ケアでの活用 ・ 社会資源の整備に向けた検討での活用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「基本ケア」の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本ケアの位置づけ ・ 基本ケアの構成と活用する際の留意点 ・ 基本ケアで想定される支援内容とその必要性等 ● 疾患別ケアマネジメントにおける介護支援専門員の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・ 疾患別ケアマネジメントを学ぶ必要性 ・ 疾患別ケアマネジメントにおける介護支援専門員の役割 ● 終末期ケアの理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 終末期ケアに関する現状・課題 ・ 終末期ケアの意義・目的・必要な視点 ・ 終末期ケアにおける主任介護支援専門員の役割と多職種連携 ・ 看取る家族への支援 ・ 看取りの段階ごとの介護支援専門員への指導・支援の視点 ・ 看護サービスを活用するときの視点 ・ 多職種との連携方法、協働のポイント 		
テキスト 参考資料			
評価方法	研修記録シート、科目の理解度		
その他			

【研修名 主任研修】

科目名	人材育成及び業務管理	時間数	講義 3 時間
講師			
目的	質の高いケアマネジメントを提供し、事業所の適正な運営等を図るための「人事管理」「経営管理」に関する知識の修得及び「人材育成」「業務管理」の手法を修得する。		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域や事業所内における介護支援専門員の人材育成に関する留意事項、効果的な取組及び方法（研修計画の作成、OJT・OFF-JT、事例検討会等）について講義を行う。 ・ 地域において人材育成を行うに当たって必要なネットワークの構築方法に関する講義を行う。 ・ 事業所内における介護支援専門員に対する業務管理の意義・方法及び課題と対応策について講義を行う。 		
修得目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域や事業所内における介護支援専門員の人材育成の課題と対応策について説明できる。 ② 地域や事業所内における介護支援専門員の人材育成に関し、効果的な取り組みおよび方法（研修計画の作成、OJT・OFF-JT、事例検討会等）により実施できる。 ③ 地域において人材育成を行うに当たって必要なネットワークの構築を実施できる。 ④ 事業所内における介護支援専門員に対する業務管理の意義・方法について説明できる。 ⑤ 事業所内における介護支援専門員に対する業務管理上の課題を踏まえ、対応策について説明できる。 		
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ● 人材育成の基本的な考え方や実践における留意点の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成の必要性と基本的な考え方 ・ 人材育成の方法 ・ OJT による人材育成 ・ OFF-JT による人材育成 ・ SDS（自己啓発援助制度）の効果的促進 ・ 研修の展開技法 ・ 人材育成のための体制構築 ・ 地域における人材確保に向けた取組の推進 ● 業務管理の内容と手法の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉・介護事業運営における原則 ・ 法令遵守の徹底 ・ 組織統治（ガバナンス）の確立 ・ 職員管理 ・ リスクマネジメント 			
テキスト 参考資料			
評価方法	研修記録シート、科目の理解度		
その他			

【研修名 主任研修】

科目名	運営管理におけるリスクマネジメント	時間数	講義3時間
講師			
目的	ケアマネジメントを実践する上で発生するリスクに対して、組織や地域として対応する仕組みの構築に必要な知識・技術を修得する。		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒヤリハットの事例に基づき、ケアマネジメントを行う上で発生しうるリスクの予測とその評価の手法について講義を行う。 ・ 地域や事業所におけるリスク軽減に向けた仕組みや体制の構築の手法について講義を行う。 ・ 介護支援専門員に課せられている秘密保持義務の規定を再確認し、個人情報の取扱に係るリスクと関連制度について講義を行う。 ・ 自然災害や感染症が発生した場合の対応に関する基本的な考え方や方法、対応体制の構築に向けて必要な知識や方法について講義を行う。 		
修得目標	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ ケアマネジメントを行う上で、事業所内で発生しうるリスクを予測し、運営管理の必要性を説明できる。 ⑦ ヒヤリハットの事例に基づき、事業所内のリスクを軽減していく仕組みづくりの重要性について説明できる。 ⑧ 地域や事業所におけるリスク軽減のための仕組みや体制を構築する際のポイントを説明できる。 ⑨ 介護支援専門員に課せられている秘密保持義務の規定について説明できる。 ⑩ 個人情報の取り扱いに関わる仕組みの重要性を説明でき、その体制の構築を実施できる。 ⑪ 自然災害が発生した際の対応について、基本的な考え方や方法について説明できる。 ⑫ 感染症が発生した際の対応について、基本的な考え方や方法について説明できる。 		
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ● ケアマネジメントの実践とリスクマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・ ケアマネジメントの実践でのリスクマネジメントが求められる場面 ・ 主任介護支援専門員に求められるリスクマネジメント ● リスクマネジメントの基本的理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ リスクマネジメントの目的 ・ リスクマネジメントの基本的考え方 ● リスクマネジメントの実現 <ul style="list-style-type: none"> ・ リスクマネジメントプラン立案に必要な知識・技術・法制度 ・ リスクマネジメントの仕組みづくり・構築の方法 ● 自然災害等緊急時における考え方と対応の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ リスクに強い組織・地域になるための基本的な考え方・仕組みづくり・方法 ・ 自然災害等緊急事態発生時の対応・留意点 ・ リスクマネジメントの仕組みの評価・見直し ● 感染症対応における考え方と対応の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症の基礎知識 ・ 感染症発生時の対応・留意点 			
テキスト 参考資料			
評価方法	研修記録シート、科目の理解度		
その他			

【研修名 主任研修】

科目名	地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）	時間数	講義・演習 6 時間
講師			
目的	地域において、地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）の実践が進むよう地域づくりの重要性と主任介護支援専門員の役割を理解するとともに、地域課題の把握方法、地域づくりに向けた具体的な取組内容等に係る必要な知識・技術を修得する。		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域づくりの意義と手法及び地域課題を把握するための情報の入手・活用する方法について講義を行う。 ・ 地域課題の解決に向けた関係者によるネットワークの機能や構築方法について講義を行う。 ・ 地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）に関する介護支援専門員に対する指導・支援方法を修得する。 ・ 地域ケア会議等を通じて把握した地域課題を解決するための地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）の展開について、基本的な考え方や方法を修得する。 		
修得目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域づくりの意義と手法及び地域課題を把握するための情報の入手・活用の方法について説明できる。 ② 地域に関する統計データ等の情報を活用し、根拠に基づいた地域課題について説明できる。 ③ 地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）を展開していくうえで、基本的な考え方や方法、留意点について説明できる。 ④ 地域課題の把握・解決に向けた取り組み策を考え、そのことについて説明できる。 ⑤ 事例検討や個別事例に関する地域ケア会議等を通じて明らかになった地域課題の整理を実施できる。 ⑥ 地域課題の解決に向けた関係者によるネットワークの機能や構築方法について説明できる。 ⑦ コミュニティソーシャルワークに関する介護支援専門員に対する指導・支援を実施できる。 		
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）に関する考え方と展開技法の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域づくりの必要性と意義 ・ 地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）の基本的な考え方 ・ 地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）の機能と展開過程 ● 地域における課題把握の方法の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域特性の把握 ・ 地域住民ニーズの把握 ・ 社会資源の把握 ● 地域課題の解決方法の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域支援の視点と方法 ・ ネットワークの機能と形態 ● 地域ケア会議の意義と主任介護支援専門員に期待される役割の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ケア会議の機能と重要性 ・ 地域ケア会議における主任介護支援専門員の役割 ● 地域づくりに関わる多様な取り組みや仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域支援コーディネーターと協議体 ・ 介護保険制度以外のさまざまな取り組みや仕組み 			
テキスト 参考資料			
評価方法	研修記録シート、科目の理解度、習熟度チェック		
その他			

【研修名 主任研修】

科目名	地域における生活の継続を支える医療との連携及び多職種協働の実現	時間数	講義・演習 6 時間
講師			
目的	地域において、医療との連携や多職種協働が進むよう、他の介護支援専門員や多職種に対する働きかけ、連携・協働の仕組みづくりに必要な知識・技術を修得する。		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療職をはじめとした多職種との協働における工夫と留意点など成功例と失敗例を参考にし連携・協働の仕組みづくりの重要性を理解する。 ・ 地域ケア会議が有している機能と、当該会議を効果的に開催するための運営方法に関する講義を行う。 ・ 行政との連携・協働に当たっての留意点に関する講義を行う。 ・ 多職種協働において関係する他法他制度（難病施策、高齢者虐待防止関連施策、障害者施策、生活困窮者施策、仕事と介護の両立支援施策、ヤングケアラー支援関連施策、重層的支援体制整備事業関連施策等）の概要と他法他制度を活用する際の関係機関等との連携・協働に当たっての留意点に関する講義を行う。 ・ 日常的な実践における医療職をはじめとした多職種協働に関する介護支援専門員への指導・支援方法を修得する。 		
修得目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 医療職をはじめとした多職種との連携・協働の仕組みづくりの重要性について説明できる。 ② 多職種協働において関係する他法他制度（難病施策、高齢者虐待防止関連施策、障害者施策、生活困窮者施策、仕事と介護の両立支援施策、ヤングケアラー支援関連施策、重層的支援体制整備事業関連施策等）の概要について説明できる。 ③ 他法他制度を活用する際の関係機関等との連携・協働に当たっての留意点について説明できる。 ④ 医療職との協働の留意点、在宅医療を担う機関の把握と連携の意義や課題について説明できる。 ⑤ 地域ケア会議等の場の活用や日常的な実践の中での多職種協働の具体的な進め方について説明できる。 ⑥ 行政との連携・協働の留意点について説明できる。 ⑦ 日常的な実践における医療職をはじめとした多職種協働に関する介護支援専門員への指導・支援を実施できる。 		
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ● 多職種との連携・協働の仕組みづくりの重要性の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多職種との連携・協働の仕組みづくりの重要性 ・ 多職種連携で高齢者の暮らしの継続を支える場面と事例 ・ 多職種協働に関わる他法他制度（難病施策、高齢者虐待防止関連施策、障害者施策、生活困窮者施策、仕事と介護の両立支援施策、ヤングケアラー支援関連施策、重層的支援体制整備事業関連施策等）の理解 ・ チームマネジメント ● サービス担当者会議での実践における留意点の理解 ● 地域ケア会議の位置づけと効果的な運営方法の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ケア会議の具体的な進め方 ・ 介護支援専門員の参加等の実践と課題及び活用する方法 ● 医療連携において医療機関や多職種に対して情報収集や医療連携する際の留意点の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の医療ニーズの把握 ・ 在宅医療・介護の連携推進に係る事業等の最新動向の理解 ・ 医療職からの情報収集の方法と内容や連携における留意点 ・ 看護職、リハビリテーション専門職との連携における留意点 ・ 医療機関や医療職、介護職への情報提供の方法と内容 ・ 医療連携加算の理解と活用における留意点 ● 医療介護連携以外の多職種連携と事例 			
テキスト 参考資料			
評価方法	研修記録シート、科目の理解度、習熟度チェック		
その他			

【研修名 主任研修】

科目名	対人援助者監督指導（スーパービジョン）	時間数	講義・演習 18 時間
講師			
目的	対人援助者監督指導（スーパービジョン）の機能（管理や教育、支持）を理解し、実践できる知識・技術を修得するとともに、スーパーバイザーとして主任介護支援専門員に求められる姿勢を理解する。		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対人援助者監督指導（スーパービジョン）の内容と方法に関する講義を行う。 ・ 対人援助者監督指導（スーパービジョン）の効果、介護支援専門員に対して対人援助者監督指導（スーパービジョン）を行う際の留意点及びスーパーバイザーとしての主任介護支援専門員の心構えと視点を理解する。 ・ 個人対人援助者監督指導（個人スーパービジョン）と集団対人援助者監督指導（グループスーパービジョン）の方法等を修得する。 		
修得目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 対人援助者監督指導（スーパービジョン）の機能（管理、教育、支援、評価）を理解し、実践のための知識・技術を修得し実施できる。 ② 介護支援専門員に対して対人援助者監督指導（スーパービジョン）を行う際の効果と留意点について説明できる。 ③ スーパーバイザーとしての主任介護支援専門員の心構えや視点を持った介護支援専門員への関わり方について説明できる。 ④ 個人対人援助者監督指導（個人スーパービジョン）とグループ対人援助者監督指導（グループスーパービジョン）を実施できる。 ⑤ 事例に基づいて、対人援助者監督指導の具体的なポイントについて説明できる。 		
内容			
<ul style="list-style-type: none"> ● 対人援助者監督指導（スーパービジョン）が求められる背景の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護支援専門員にスーパービジョンが求められる背景 ・ 職場にスーパービジョンを位置付ける意義 ● スーパービジョンの基本的な考え方や実践における留意点の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ スーパービジョンの定義・目的 ・ スーパービジョンの機能 ・ スーパービジョンの形態と特徴 ・ コンサルテーション、コーチング、ファシリテーションとの違いと共通点 ・ スーパービジョンの進め方 ● スーパーバイザー体験の振り返り ● スーパービジョン演習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人スーパービジョン演習 ・ グループスーパービジョン演習 			
テキスト 参考資料			
評価方法	研修記録シート、科目の理解度、習熟度チェック		
その他			

【研修名 主任研修】

科目名	個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開	時間数	講義・演習 24 時間
講師			
目的	介護支援専門員に対する指導・支援における様々な方法と関わり方について、その具体的な方法や留意点を理解するとともに、事例研究の実践的な展開方法を修得する。		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の事例に対する介護支援専門員のケアマネジメントについて、主任介護支援専門員として指導・支援を行う際の様々な方法（コーチング、ティーチング等）を修得するとともに、指導・支援を行う際の様々な場面における関わり方を理解する。 ・ 指導・支援に当たっての留意点を踏まえつつ、事例検討・事例研究における指導・支援の実践的な展開方法（会議の設定と準備、介護支援専門員との関係構築、傾聴、承認、指導・支援の具体的な展開及びまとめと振り返り）を修得する。 		
修得目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 介護支援専門員が自ら問題解決できるような指導・支援を実施できる。 ② 事業所内や地域の介護支援専門員への人材育成の実施支援及び指導・支援を実施できる。 ③ 事例検討・事例研究における指導・支援の実践的な展開方法（会議の設定と準備、介護支援専門員との関係構築、傾聴、承認、指導・支援の具体的な展開及びまとめと振り返り）を実施できる。 ④ 個々の事例について、指導・支援における関わり方（コーチング、ティーチング等）の使い分けと留意点について説明できる。 ⑤ 事業者を越えた地域活動に積極的に参加し、その成果を活用して自らのケアマネジメントを実施できる。 ⑥ 地域包括ケア実現のために、地域全体の課題を把握し、解決に向けた取り組みを実施できる。 ⑦ ネットワークづくり、社会資源の創出のために主任介護支援専門員としての役割を実施できる。 		
内容			
	<ul style="list-style-type: none"> ● 個別事例を通じた指導・支援の有効性 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別事例を通じた指導・支援の概要 ・ 意図的・計画的な指導・支援の実践 ・ 個別事例を通じた指導・支援における主任介護支援専門員に期待される役割 ● 個別事例を通じた指導・支援の準備と実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導・支援の準備 ・ 指導・支援の実施 ・ 指導・支援の評価と見直し ● 手法ごとの特徴と実践のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例指導 ・ 事例検討 ・ 事例研究 ● 指導力アップに向けた自己研鑽の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導・支援の企画・実施に係る課題認識 ・ 課題解決に向けた取り組み ・ 継続学習の計画 		
テキスト 参考資料			
評価方法	研修記録シート、科目の理解度、習熟度チェック		
その他			